

# 提案概要書

## ○概要

サクラやモモ、ウメなどのバラ科植物に深刻な被害を与えるクビアカツヤカミキリは、2012年に愛知県で被害が初確認されて以降、東京や大阪を含む多くの県で毎年被害を広げている。2018年に特定外来生物に指定されてからも被害が止まないものの、幸いにも江戸川区では未だ被害及び成体の確認がされていない。その現状を受け、今回私たちは江戸川区内の公共エリアにおいて、クビアカツヤカミキリの生息及び被害状況の調査を行った。

## ○結果

7月9日から7月22日、8月13日から8月26日の計28日間で、サクラ4261本、ウメ118本、アンズ48本を徒歩にて調査を行った。

結果として、公園・緑地等の公共エリアでは、成体及びフラスは発見されなかった。

## ○今後必要な取り組み

### ① 都内にある学校やNPO/NGOからの発見情報の収集

学校や公益法人与自然協力調査を行うことでの、クビアカツヤカミキリの早期発見と各地区・地域ごとの被害状況の確認。

### ② ①の情報を都のインターネットサイト等で発信

都民へのクビアカツヤカミキリに関する情報の普及啓発と、学校や公益法人与自然協力調査についての情報発信および都民に向けての調査参加の促進。